

おみの星空キャンドルまつり実施事業

取組に至る背景・事業の目的

麻績村では春から秋にかけて村内各地で伝統行事や各地区の祭事、そば祭りや収穫祭等が地域住民の協働により行われているが、スキー愛好者以外が気軽に参加できる冬季のイベントはなく、スキー場利用者を除く観光客の来村は非常に少ない状況であったため、住民主体で多くの人が参加できる村の新しい冬のイベントとして「おみの星空キャンドルまつり」を企画した。

事業内容

■おみの星空キャンドルまつりの実施

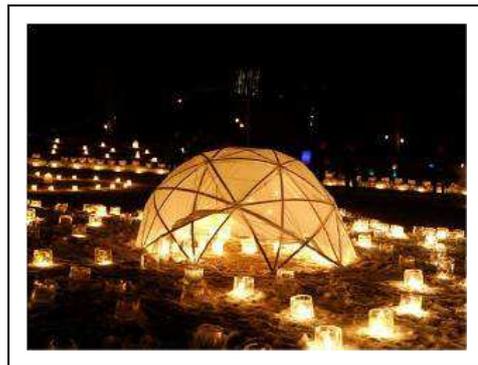
麻績村の冬の魅力を村内外の人に発信するため、住民協働による村の新たなイベントとして、厳寒期ならではの気候と景色、アイスクャンدلとのコラボレーションで会場を彩った。

- ・村内の宿泊施設の庭園を会場に、約 2,000 個のキャンドルを並べて、参加者全員で点灯
- ・制作過程での参加や当日の設置・点火ボランティアをウェブサイトなどを活用して募集
- ・村内の保育園、小学校、中学校などから氷のプレートに挟む絵の提供
- ・村内のデイサービス利用者から提供された絵で灯籠を作成
- ・地域資源の活用を図るため、竹のキャンドルやドームの制作・設置

期日 平成 26 年 1 月 25 日

イベント参加者 450 人

当日来場観客者数 約 1,000 人



【竹ドームとアイスクャンدل】

事業効果

住民主体でイベントを行うことにより、住民が村の魅力を再発見し、村づくりに参画することができた。試行錯誤しながらイベントを行っていくことで、住民同士の関係性の向上や村への愛着がわく事業となった。

アイスクャンدل制作実施者と活動者数が H24 比で 25% 増となり、住民が村内イベントの制作活動に参加することにより、生きがいややりがいを持ちながら活動できる場を増やし、村の発展や振興に効果をもたらすことができた。

アンケート回答を基に算出した村外からの観光客数は、H24 比で 13% 増となり、村内の商業施設や宿泊施設の収益増加となった。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

来場者が記入したアンケートを基に次年度へ向けて可能な限り改善をする。

今回参加した実行委員会のメンバーとボランティアからさらに制作参加者を広げるため、村内外に関わらず希望者が制作参加できるよう努める。

次年度のイベントに向けて来場意欲が増すよう、村内外に広く情報発信するよう努める。

【選定のポイント】

ボランティアが中心となり企画・運営を担う住民参加型イベントとして定着しつつあり、村内の住民同士の交流に加え、観光客との交流も促進され、目標以上の成果を上げている。住民主体の地域交流イベントとしてモデル性に優れた事業であり評価できる。

団体名	おみの星空キャンドルまつり実行委員会 (麻績村)	事業タイプ	(ソフト事業)
連絡先	0263-67-3001 (麻績村村づくり推進課)	事業費	570,761円
		支援金額	424,000円